初めは見上げるほど遠くにあったものが、
長い階段をのぼっていくときのように、だんだんと手の届くところへ近づいてくる。
人類の夢と、それにひとつづつ応えてきた技術の進歩について、そんなことが言えそうです。
この絵は、少年CG(コンピュータ・グラフィック)アーチスト、
瀧本大介くんが、小学6年生の時に描いてくれた「宇宙旅行」。
大介くんがおじいちゃんか、ひいおじいちゃんになる頃には——。
夢を見る力。夢を叶える力。未来へ、つづく。日立です。

もういくつ寝ると、宇宙旅行。

人と技術の理想をめざす
Interface

株式会社 日立製作所

9月度　行事予定

●会議

9/18　常務理事会

●ナショナルチーム

男子ジュニア

8/31～9/4　強化合宿　日体健志台

●男子A

9/15～9/20　アジア選手権直前合宿　東京(詳細未定)

9/24～10/5　アジア選手権大会(出発9/21帰国10/6)　バーレン

●女子ジュニア

9/3～9/12　世界女子ジュニア選手権大会(ブルガリア)

●女子A

アメリカ女子ナショナルチーム親善試合

9/9　ナショナルチーム　西宮

9/11　北國銀行　金沢

9/12　ナショナルチーム　金沢

9/13　ナショナルチーム　京都

日本リーグ(後期)

9/27	1部男子	東京	東京体育館	湧永製薬×中村荷役
〃	〃	〃	〃	日新製鋼×三陽商会
〃	2部男子	〃	〃	三　景×豊田自動織機
9/28	1部男子	〃	〃	中村荷役×三陽商会
〃	2部男子	〃	〃	三　景×大阪ガス
〃	2部女子	〃	〃	JUKI×ソニー国分
10/2	1部男子	大阪	千島体育館	大同特殊鋼×大崎電気
〃	1部女子	〃	〃	北國銀行×日立栃木
〃	2部男子	福井	福井県営体育館	トヨタ自動車×竹芝精巧
〃	〃	〃	〃	三　景×本田技研熊本
〃	〃	〃	〃	日本電装×豊田自動織機
〃	〃	〃	〃	北陸電力×大阪ガス
10/3	1部男子	宮城	古川市総合体育館	日新製鋼×トヨタ車体
〃	1部女子	〃	〃	オムロン×シャトレーゼ
〃	2部女子	〃	〃	大崎電気×日本ビクター
〃	1部男子	兵庫	西宮市立中央体育館	本田技研×大同特殊鋼
〃	1部女子	〃	〃	ジャスコ×ブラザー工業
〃	2部女子	〃	〃	大和銀行×ムネカタ
〃	2部男子	福井	福井県営体育館	トヨタ自動車×北陸電力
〃	〃	〃	〃	三　景×日本電装
〃	〃	〃	〃	本田技研熊本×大阪ガス
〃	〃	〃	〃	竹芝精巧×豊田自動織機

CONTENT

9月度行事予定（会議・日本リーグ後期他）……1
第15回男子世界選手権大会について……井　薫……2
第7回男子アジア・ハンドボール選手権大会組み合わせ……3
全日本高校選手権大会総評……4
全国小学生大会報告……6
男子ナショナル海外特別強化合宿レポート……蒲生晴明……8
日本リーグ前期を顧みて……日本リーグ運営委員会……9
湧永製薬チームの地域活動……長沢純平……12
平成5年度登録人数9万人超す……13
IHFの組織紹介……大西武三……14
全日本実業団連盟レフェリー紹介……西村興八……16
国際情報……18
ドイツ研修レポート／スポーツ・フェスティバルを観て……田口　隆……22
委員会報告／機関誌委員会より……23
委員会報告／指導委員会より……24
県協会だより／香川県ハンドボール協会……25
各地の大会結果……26
日本協会だより……28

写真提供：スポーツ・イベント

誘致活動状況

第15回男子世界選手権大会について

強化担当常務理事（熊本県ハンドボール協会理事）　井　薫

丁度1年前の8月、日本協会の渡邊副会長が、宮崎県での高校総体の視察時に旧知の熊本のJCメンバーと出会い、熊本はサッカーのワールドカップ予選の招致を断念したが、それに代わる催しの話題の中で、ハンドボールの世界選手権大会に日本が立候補すれば、実現の可能性があるとの話が、夢に終わらずふくらみをみせたのが今回の発端です。

熊本県協会にこの話が伝わったのが10月。地方自治体と日本協会の理解、決意なくしてはどうにもならないビッグなイベントである事を県協会で確認し、数回の会議を経て本年2月、熊本県知事に開催意向を打診しますと前向きの感触を得ました。

この姿勢を県協会から日本協会へ伝達し、2月27日の全国評議委員会で副会長、専務が概略説明を行ったのが、国内への初めての公式のコメントであり、3月2日、副会長と私が韓国を訪問、IHFのアジア代表理事の金宗河氏に協力依頼を行ったのが、海外に向けてのコメントでした。

そして、急遽第13回世界選手権を県協会として視察する事になり、森理事長と私で3月15日～21日までスウェーデンに、3月17日には副会長がIHFのメンバーに挨拶と情報収集に2泊のスケジュールで滞在しました。専務理事のレイモンド・ハーンや、競技委員長のオットー・シュワルツほか、要人に会っていただきましたが、かつてIHFの理事としてアジアに渡邊ありとその活躍が高く評価され、いまも語り継がれる先代のご子息とあって、VIP対応で、短い滞在でしたが初期の目的は充分果たされました。

また日本開催の意向は、韓国の金氏よりヨーロッパに伝わっており、「'97JAPAN」と声をかけられる事も少なくありませんでした。

この大会で優勝のロシアのキャプテンのドイシェバエフや2位フランスのリシャーソン、そして地元スウェーデン左のエース、オルソン等に挨拶をかねて日本のピンを渡しますと、それぞれにウィンクをしたり、親指を突き出しながら「'97JAPAN」と握手を求められたりで、すでにプレーヤー間で関心を呼んでいる雰囲気でした。

さてその後、日本協会、熊本双方で検討、試算がなされ、それらの経緯を経て6月26日の日本協会の評議委員会で、熊本開催を前提とした日本への招致が正式に審議決定されましたが、これからが本当に大変な準備、作業ですし、全国の皆様のご理解とご協力をお願いする次第です。

当面、来年の10月のオランダでのIHF総会までの招致活動があり、ナショナルチームは来年の広島でのアジア大会の成功にむけての強化（その延長線上に'95の世界選手権大会や'96のアトランタオリンピックのアジアの予選や本大会があり、一貫した体制での強化によるチーム力のアップを狙う）があります。

そして招致、準備、実行の委員会の組織づくり等、日本協会としてこれまでに体験した事のないような質・量ともにハードな仕事に直面しますが、よろしくお願いして私の立場での現況報告といたします。

第7回男子アジア選手権大会組み合わせ

THE 7TH MEN ASIAN HANDBALL CHAMPIONSHIP

日付	試合・時刻				
9月24日	16：30		OPENING CEREMONY		
	①18：00	カタール	[―]	バーレン	予選ラウンド
25日	②15：15	韓　国	[―]	アラブ首長国連邦	
	③16：45	日　本	[―]	クウェート	
	④18：45	中　国	[―]	タイペイ	
26日	⑤15：15	イラン	[―]	日　本	
	⑥16：45	サウジアラビア	[―]	中　国	
	⑦18：45	カザキスタン	[―]	韓　国	
	⑧19：45	インド	[―]	カタール	
27日	⑨15：15	タイペイ	[―]	サウジアラビア	
	⑩16：45	バーレン	[―]	インド	
	⑪18：45	クウェート	[―]	イラン	
	⑫19：45	アラブ首長国連邦	[―]	カタール	
28日	⑬15：15	1B	[―]	2A	メインラウンド
	⑭16：45	1A	[―]	2D	
	⑮18：45	1D	[―]	2C	
	⑯19：45	1C	[―]	2B	
29日			休　養　日		
30日	⑰10：00	3B	[―]	3D	
	⑱11：30	3A	[―]	3C	
	⑲15：15	2B	[―]	1A	
	⑳16：45	2C	[―]	1B	
	㉑18：45	2D	[―]	1C	
	㉒19：45	2A	[―]	1D	
10月1日	㉓15：15	2C	[―]	2A	
	㉔16：45	2B	[―]	2D	
	㉕18：45	1B	[―]	1D	
	㉖19：45	1A	[―]	1C	
2日	㉗15：15	17の敗者	[―]	18の敗者	11—12位決定戦
	㉘16：45	17の勝者	[―]	18の勝者	9—10位決定戦
	㉙18：45	AB—4	[―]	CD—4	7—8位決定戦
	㉚19：45	AB—3	[―]	CD—4	5—6位決定戦
3日	㉛16：30	AB—1	[―]	CD—2	セミファイナル
	㉜18：00	CD—1	[―]	AB—2	
4日			休　養　日		
	㉝16：00	31の敗者	[―]	32の敗者	3—4位決定戦
	㉞17：30	31の勝者	[―]	32の勝者	決　勝　戦

バーレンで開催される第7回男子アジア・ハンドボール選手権大会の組み合わせが決まった。それによると、競技は9月24日から予選ラウンドが始まり、日本は翌25日に登場し、クウェートと対戦する。26日にはイランと対戦して28日以後のメインラウンドへ挑む。

なお、参加国は12ケ国で、Aグループは中国、タイペイ、サウジアラビア、Bグループはカタール、バーレン、インド、Cグループは韓国、アラブ首長国連邦、カザキスタン、Dグループは日本、クウェート、イランとなっている。

高松宮賜杯第44回全日本高等学校ハンドボール選手権

大会総評

全国高体連ハンドボール部副部長　住尾　勉

「輝いて見せてください青春の汗in栃木」のスローガンのもと、8月1日、栃木県総合運動公園陸上競技場にて総合開会式が盛大に行われた。

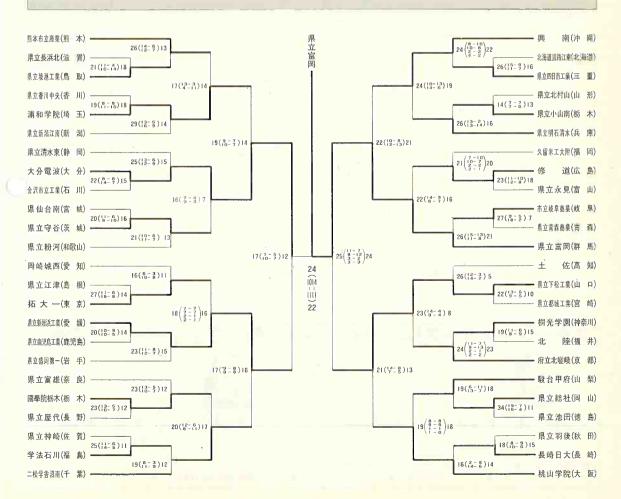
試合初日、大変涼しい（寒いくらい）天候であったが、栃木市実行委員会の配慮が随所にみられ、「栃の葉国体」を彷彿させる会場設営に役員一同驚きを感じた。その素晴らしいコートで男女1回戦の各試合が開始された。

二日目は、早朝からの雨で主会場コートを見てからの判断で、雨天会場での開催となった。その間多少の時間を要したが、経験の多い栃木市だけあって、決定後の雨天会場への移動は実にスムーズで見事であり、三会場とも予定の1時間30分遅れで試合が開始できた。試合の方は、シード校が男女共に2回戦で敗退する波乱があった。

三日目も雨天会場となったが、試合も佳境に入り、地元チームの活躍もあり、体育館は応援団等で満員の盛況となった。

四日目、昨日までの雨でグラウンドコンディションが懸念されたが、整備も万全で、ベストコンディション下で準々決勝男女各4試合が行われた。いずれも激戦で、それぞれ大分電波、新居浜工業、富岡高校、下松工業、名古屋短大附属、佼成学国女子、夙川学院、小松商業がベスト4に勝ち残った。

五日目、準決勝、男子新居浜工

男子の部

業対大分電波戦は、前半互角。後半9分、新居浜工業が1点リードしたものの、大分電波が残り14分から8点を追加し決勝へと駒をすすめた。また、富岡高校と下松工業の試合は、富岡高校がスピードあふれるプレーで前半をリードするものの下松工業の素晴らしい追いこみにより延長となり、富岡高校が栃谷選手の活躍で下松工業を振り切った。

女子は、名古屋短大附属が立ち上りこそミスが目立ち佼成学園女子の善戦がみられたものの、除々に実力を発揮し決勝進出をはたした。小松商業と夙川学院の試合は後半にその明暗を分けた。夙川学院は後半10分間程加点出来ずにいたが、その間小松商業は7点を入れて夙川学院をつきはなし、勝利した。

準決勝終了後3位表彰式を行い、男子第三位下松工業高校(山口)・新居浜工業高校(愛媛)、女子第三位佼成学園女子高校(東京)・夙川学院高校(兵庫)の各チームに、日本ハンドボール協会全国高体連ハンドボール専門部・栃木市長から賞状・楯が贈られた。

8月7日、六日目。男子・富岡高校と大分電波高校、女子・名古屋短大附属高校と小松商業高校の各決勝戦が行われた。

男子は、双方共にスピードあふれるゲーム展開で一進一退のシーソーゲーム。富岡・栃谷、大分・今村の両エースの活躍による素晴らしい決勝戦に、満員の観衆は酔いしれる程であった。結局、富岡が接戦を制した。

奇しくも選抜大会決勝と同じ対戦となった女子は、男子同様スピードのあるゲーム運びで、決勝戦らしい試合となった。名古屋短大附属が児島、兒丸の活躍で前半をリード、後半は小松商高も立ち直り、互角の戦いをしたが、名短・児島のスピードある動きをとめきれず、前半の差をつめることが出来ずに敗れた。

大会6日間を通して、全ての試合に高校生達の日夜精進を重ねた結果の精一杯の力が発揮された。会場で観戦していただいた地元の皆さんはじめ多くの方々にも、目を離すことの出来ない素晴らしいプレーの連続に堪能していただけたことと思います。又、関係者一同にとっても、年々レベルの高まる試合を目のあたりにして、意義深いものを感ずるところであり、今大会の選手の中から多くのオリンピック選手が生まれることを念じる次第です。

最後になりましたが、優勝チームの富岡高校・名古屋短大附属高校の活躍を称えつつ、今大会のため多大なるご尽力をいただきました栃木県・栃木市実行委員会をはじめ関係各位に対して衷心より御礼・感謝申し上げ、大会の総評といたします。

女子の部

第6回全国小学生ハンドボール大会

男子は当山小（沖縄）、女子は三佐（熊本）が優勝

普及委員　佐路　清隆

第43回京都国体を契機に、京都府田辺町で開催している全国小学生ハンドボール大会も今年で早や第6回を迎え、7月31日から8月2日までの3日間、男子23道府県24チーム、女子19道府県20チーム、計831名の選手、役員の参加を得て盛大に開催された。

本年は新たに、福島県・長野県・大阪府から女子チームの参加があり、また東海地方以北の参加が少ないことは課題ではあるが、年年僅かながら着実に参加チームは増加してきている。

大会の事前調査で判ったことは、不参加の主な理由として、指導者の不足、経費の負担が大きい、各ブロック大会との日程が接近している等の理由が挙げられているが、引き続き全都道府県出場を目指し、マスコミ報道関係の充実、冠大会への移行、社会教育機関の支援体制により本大会の実質的な発展が予想されるので、各都道府県協会のより一層のご理解と努力をお願いしたい。

今後さらに各都道府県の小学生チームを増やしていく上において、本大会の中からヒントになるチームを紹介する。

まず一つ目は、国体開催を契機に地元でのハンドボール競技の普及を目的に誕生したチームで、京都府田辺町田辺東小学校、田辺町選抜、香川県香川町オリーブくん、オリーブちゃん、福島県本宮町本宮スポーツ少年団チームなどがあり、いずれも最初は行政主導型で小学生ハンドボールチームができている例である。次に、広島県甲田ハンドボール部のように地元日本リーグ所属チーム（湧永製薬）と笹川スポーツ少年団（ジャスコ）が育成・指導する実業団主導型のチームである。

本大会前日に㈶日本ハンドボール協会普及委員会小学生専門委員会が初めて開催され、小学生ハンドボールの課題についていろいろと協議されたが、そこでも日本リーグ所属チームに小学生ハンドボールチームの育成をするよう要望していくことで意見がまとまった。

他にも、小学生用大会ボールの問題、小学生大会の在り方についても協議されたが、全国小学生ハンドボール指導者自身が現在抱えている諸問題を少しずつでも発展的に解決していける機会の場ができたことは、大きく発展につながるものと確信する。

さて、競技面で今夏は、天候不順による雨天会場への移動の心配もあったが、競技中に雨が降ることもなく、予定どおり大会を消化することができた。

男子準決勝は田辺町選抜（京都）が14－8で上庄児童クラブ（富山）に勝った。

前半10分までは3対3の同点で最後まで競り合うかと思われたが、田辺町選抜はディフェンス面でよく頑張り、攻めては速攻に結びつけて主導権を握った。後半に入っても、田辺町選抜は安高のポスト・速攻で着実に得点を重ね上庄の反撃を5点に押さえて勝利を握った。

当山小学校（沖縄）は15－7で田辺東小学校（京都）に勝った。

前半の立ち上がり10分まで、田辺東ゴールキーパー山之上の好キープがあり接戦したが、総合力に優る当山小がテクニックを生かした平良のサイドシュートなどでペースをつかんだ。

後半に入っても当山小はディフェンス面でよくねばり田辺東の反撃を許さなかった。当山小の運動量が田辺東を上回った一戦。

女子準決勝は三佐ハンド（大分）が13－6で日知屋東小（宮崎）に勝った。

最終的に13対6と点差の開いた試合ではあったが、両チームとも非常によく鍛えられており見応えのある好試合であった。

三佐は奥平のシュートで先制し、ミスの少ない豊富な運動量と練習量で日知屋東を寄せつけず、横綱相撲で勝利をものにした。

仏生寺スポーツ（富山）は12－8で田辺東小（京都）を下した。

前半開始早々から息詰まる接戦となった。仏生寺の多彩な攻めに田辺東は鳴海のロングシュートで応戦し、前半はほぼ互角の展開となった。しかし、仏生寺は前半終了間際に得点し、後半もマイボールからのスタートで一挙に波にのり点差を広げて、田辺東の追撃を振り切った。

女子決勝は三佐ハンド（大分）が19－8で仏生寺スポーツ（富山）を下した。

決勝は初出場の富山県、過去3度の優勝経験をもつ大分県の対決となった。

前半は、三佐が奥平のロングシュートなどで先行し、仏生寺が竹田を中心に追い上げる形となり、三佐・米村の退場する間に点差を縮めようとチャンスを狙ったが、逆にペナルティを外すなどして功を奏さず、7－5で前半を終了した。

後半は、動きの止まった仏生寺に対して、三佐は日頃の練習の豊富さを発揮し、一方的に押しまくり優勝杯を手にした。

それにしても、三佐ハンドボールクラブの完成度は高く、監督ならびに父兄の素晴らしい情熱の入れ方が伺われる。

男子決勝戦は当山小学校（沖縄）が12－8で田辺町選抜を破った。

昨年の決勝戦と同様の顔合わせの京都対沖縄の対戦となった。

前半は当山の左投げのテクニシャン平良のサイド・カットインを田辺町選抜は止めることができず、また、ディフェンス面でも田辺に有利な位置でシュートを許さず、一方的な試合展開になった。後半に入り、当山小のメンバーチェンジの隙をついて一矢報いる形にはなったが、選抜チームの弱点を露呈する試合結果に終わった。

大会を振り返って、今年度は超小学生級の大物選手はいなかった

が、どのチームもどこからでも点が取れるように速攻主体チームが多かった。
　女子では、三佐が王者の貫禄を思わせる危なげない試合運びで優勝したのに対し、男子初出場の当山小学校は、沖縄予選で常連の宮城小学校を破っての出場だけに喜びもひとしおだったと思う。
　また、会場も年々父兄の応援団が増え、鳴物入りの応援にも一層の熱がこもって、予選リーグから接戦が多く見られた。過去6回の歴代男女優勝チームをみると、昨年の男子・田辺東の京都1回を除いて、すべてチャンピオンが九州勢とあって、そのレベルの高さは称賛に値する。その大きな理由の一つとして、全国的にハイレベルにある九州地区の中・高校生に胸を借りて技術学習を積んでいることは、一貫技術指導として、当然の結果といえよう。
　近い将来、関東勢の新風を期待した活性化を計り、日・台・韓・中のアジア交流の実現を夢見ながら大会の報告とします。

大会結果

◎男子

▼予選リーグ

〈A〉　田辺町選抜(京都)17―0笹川少年団(三重)　田辺町選抜10―8花高ジュニアクラブ(長崎)　花高ジュニアクラブ10―4笹川少年団

〈B〉　明石ミニ(兵庫)9―3瀬戸オールスターズジュニア(岡山)　明石ミニ8―5本宮スポーツ少年団(福島)　本宮スポーツ少年団11―4瀬戸オールスターズジュニア

〈C〉　小林スポーツ少年団(宮崎)15―4貝塚パーディーズ(大阪)　岩手大学教育学部付属小学校(岩手)7―6小林スポーツ少年団　貝塚パーディーズ7―5岩手大学教育学部付属小学校　※得失点差により小林スポーツ少年団が決勝トーナメントへ

〈D〉　上庄児童クラブ(富山)13―12安堵の里クラブ(奈良)　上庄児童クラブ19―14甲田(福井)　安堵の里クラブ17―11甲田

〈E〉　当山小学校(沖縄)20―5塩山スポーツ少年団(山梨)　当山小学校23―1和歌山市教室(和歌山)　塩山スポーツ少年団30―0和歌山市教室

〈F〉　明野北少年団(大分)23―9愛知県小学生教室(愛知)　明野北少年団13―3埴生ファイターズ(長野)　埴生ファイターズ10―9愛知県小学生教室

〈G〉　中央北小HC(熊本)14―6守谷クラブ(茨城)　中央北小HC24―8オリーブくんチーム(香川)　守谷クラブ18―4オリーブくんチーム

〈H〉　田辺東小学校(京都)22―3函館選抜(北海道)　田辺東小学校14―4東安居少年団(福井)　東安居少年団15―5函館選抜

▼1回戦

田辺町選抜　22―3　明石ミニ
上庄児童ク　17―6　小林
当山小学校　15―11　明野北小学校
田辺東小学校　10―7　中央北小HC

▼準決勝

田辺町選抜　14―8　上庄児童ク
当山小学校　15―7　田辺東小学校

▼3位決定戦

田辺東小学校18―17　上庄児童ク

▼決勝

当山小学校　12（9―1、3―7）8　田辺町選抜

◎女子

▼予選リーグ

〈a〉　宇土花園クラブ(熊本)13―1田辺町選抜(京都)　宇土花園クラブ23―0笹川少年団(三重)　宇土花園クラブ17―2ヴェルディ埴生(長野)　田辺町選抜11―4笹川少年団　田辺町選抜16―5ヴェルディ埴生　笹川少年団6―5ヴェルディ埴生

〈b〉　三佐クラブ(大分)21―0甲田(広島)　三佐クラブ24―1大浜キッズ(大阪)　甲田4―2大浜キッズ

〈c〉　当山小学校(沖縄)33―0和歌山市教室(和歌山)　当山小学校12―2東安居スポーツ少年団(福井)　東安居少年団29―2和歌山市教室

〈d〉　長崎小島クラブ(長崎)9―2愛知県小学生教室(愛知)　長崎小島クラブ20―3函館選抜(北海道)　愛知県小学生教室8―3函館選抜

〈e〉　田辺東小学校(京都)14―3瀬戸オールスタージュニア(岡山)　田辺東小学校16―2本宮スポーツ少年団(福島)　本宮スポーツ少年団3―1瀬戸オールスタージュニア

〈f〉　仏生寺スポーツ少年団(富山)11―10日知屋東小(宮崎)　仏生寺スポーツ少年団16―3オリーブちゃんチーム(香川)　仏生寺スポーツ少年団13―5安堵の里クラブ(奈良)　日知屋東小18―0オリーブちゃんクラブ　日知屋東6―3安堵の里クラブ　安堵の里クラブ18―3オリーブちゃんチーム

▼1回戦

日知屋東小　11―9　宇土花園ク
三　佐　9―8　当山小学校
田辺東小学校　13―10　長崎小島ク
仏生寺スポ少　14―4　田辺町選抜

▼準決勝

三　佐　13―6　日知屋東小
仏生寺スポ少　12―8　田辺東小学校

▼3位決定戦

日知屋東小　13―5　田辺東小学校

▼決勝

三　佐　19（7―5、12―3）8　仏生寺スポ少

男子ナショナル

海外特別強化合宿レポート

地道な強化に成果あり

全日本男子チーム監督
蒲生　晴明

日付		得点	前後半	得点	対戦相手
▶７月25日	全日本	27	14－8 13－5	13	SPARTA-IF （国内リーグ４位）
▶７月26日	全日本	27	16－10 11－12	22	DICKEN （92国内チャンピオン）
▶７月28日	全日本	24	10－15 14－10	25	BK-46 （91国内チャンピオン）
▶７月29日	全日本	29	14－9 15－5	14	フィンランド ジュニア

全日本チームで7、8月にヨーロッパ、それも北欧に遠征合宿に来るのは初めてではないかと思う。この時期、こちらは気候も大変よく、トレーニングをするのも、ゲームをするのも、コンディションとしては効果が求められそうである。事実、トレーニングをしても疲労感が日本と比較して残らず、選手たちもトレーニング後の食事も充分に摂っている。

簡単に食事と記したが、食事はコンディションのバロメーターであり、食欲は次の行動に著しく影響を与える。中には、食事が摂れないものもいるが、日本の様に蒸し暑くないので、トレーニング後、充分にそしてタイムリーに摂れている様である。また、体調だけでなく、チーム力も日に日によくなっている。フィンランドで合計4試合を消化したわけだが、表の様な結果となっている。

別掲のとおり、3勝1敗の成績であった。ゲームの内容としてはゲームを追うごとに調子を上げており、チームとして、技術修得が順調に進んでいる。

対するフィンランドのハンドボールは、8才ごろからクラブに入り、基本的なトレーニングを積んでいるだけあって、大変オーソドックスなハンドボール技術を持っている。オフェンスとしてはオープン攻撃、ディフェンスとしては6－0、3－2－1と使い分け、基本に忠実であった。

我々は3－2－1ディフェンスから積極的なアタックをすることにより、フィンランドのミスを誘うことが出来、ゲームの内容としてはよく守ったという印象である。オフェンスとしては、フィンランドが190前後の平均身長であったので、それほど大きさに苦労をすることはなく、トレーニングしたことが徐々にでるようになった。しかし、30日からはハンドボールのメッカ、ドイツに渡り、ブンデスリーグと対戦するので、気を引き締めて挑戦していきたい。

スウェーデン
フィンランド
ノルウェー
北海
デンマーク
イギリス
オランダ
ドイツ
ポーランド

長期間、ナショナルチームとしてのトレーニングを実施していない分、今回の遠征でチームの核を造り、9月の第7回アジア選手権（バーレーン）では、その成果をトライしてみたい。その意味でも残すドイツ、デンマークでのゲームをステップ・バイ・ステップして行くつもりである。

若いチームがいろいろな壁に当たっているが、頼もしく乗り越えているので、心強く思っている。気の緩みがないよう、地道な強化を継続していくことを肝に銘じて前進して行きたい。（フィンランドにて　7／30）

◎技術的な特記事項

7月28日、フィンランドリーグの91年チャンピオン、BK－46チームが2分間退場のケースで、左図のディフェンスを実施してきた。

●印はフィンランドリーグ
BK－46チームDF
△印は全日本チーム

全日本チームは、このシフトが初体験であり、驚いてしまい、なすすべをなくし、無駄にボール回しをするだけになってしまった。

この図だけで説明をするのは不可能であると思うが、No.1のディフェンストップがボールがパスされる方向に素早く動き、6人のOFに対してスムーズにプレーさせないようにしてきた。このディフェンスシフトに全日本が対応出来ず、悔しい敗戦となった。

しかしながら、よい経験をしたので、次回のケースでは対応出来るようにトレーニングを実施し、フィンランド・ジュニアチームとの対戦では、同様のケースがあったが、何なくクリアした。

ヨーロッパに来て、こういう体験は豊富であり、ぜひ日本に持って帰り、日本ハンドボール界へ情報提供もしていきたい。まずはトピックスまで。

日本リーグ前期を顧みて

〈日本リーグ運営委員会〉

平成5年6月1日(火)、東京体育館において、2部女子のJUKI対日本ビクターの対戦を皮切りに第18回日本リーグの熱戦をスタートした。

戦前の予想としては、湧永製薬の2連覇成るか、勢いに乗る日新製鋼（今年こそ初Vを！のムードが高まっている）、大学界から即戦力ルーキーを6名も入れた本田技研がストップをかけるか、また、17回日本リーグ後半に迫力あるプレーを見せた中村荷役の上位への食い込み成るか等の話題にわいた。

一方、女子は前回6年ぶりに女王の座に返り咲いたオムロンが選手層を充実させ、優勝候補の一番手となるだろう。対抗馬と目される北国銀行も引退宣言をひるがえした元気者松田等を中心に活躍が期待できる。また2部から昇格した日立栃木、ブラザー工業も元気いっぱいであり、安定した実力を持つシャトレーゼがどんな戦いぶりを見せるかが見所とされた。

いずれにしろ男子・女子ともにどのチームが飛び出すかわからないという戦国時代の様相を呈する興味津々のシーズンインとなった。

去る7月13日(火)に日新製鋼対中村荷役の前期最終戦が行われたので、前期の戦いぶりを振りかえってみたい。

男子一部

湧永が無傷でトップ守る！

男子開幕戦は、日本リーグ史上初の2mプレーヤー岩本（早大）を迎えた三陽商会、3年連続得点王を狙う呉を有する中村荷役の激突でシーソーゲームを展開し、幕開けにふさわしい好ゲームを見せてくれた（このゲーム引分け）。

序盤から快調に飛び出したのは、前年チャンピオンの湧永製薬で、選手兼任の井藤監督をはじめ玉村、酒巻、河原、堀田らを中心に2連破を狙う意気込みが感じられる戦い振りである。5月の全日本実業団選手権で快勝したのも、スタートダッシュの好材料となっている。ベテランへの依存度が高く、選手のケガが不安材料としてあるが、当面実力No.1はくずれそうにない勢いがあるとみられる。

一方、湧永製薬の対抗馬1番手の日新製鋼も、主力メンバーに異動無く、堀田、坂口、GK宇田川に、監督兼任でデビューする通算得点記録更新を狙う西山を加え、「今年こそV」を合い言葉に湧永製薬を追っている。

両者の対決は7月11日、宮崎県で行われ、前半なかばまで日新製鋼の先行を許していた湧永製薬が、徐々に追い上げ、逆転に成功。木村、甲斐らで必死に追いすがる日新製鋼を、湧永製薬は玉村、田中らの的確なシュートで突き放し、前期7戦全勝とした。

日新製鋼は、中村荷役と並ぶ4勝1敗1分で前期を終了したが、6月20日、福岡市民体育館で西山の記録更新をかけ、三陽商会と対戦した。この試合で日新製鋼の西山清（34才、筑波大出）は、通算612得点をマーク。蒲生晴明（大同特殊鋼、現全日本男子監督）の日本リーグ記録を塗り替える金字塔を打ち立てた。このゲームでは、記録達成に花を添えようと日新製鋼の各選手はエネルギッシュなプレーを展開し、三陽商会の追撃をかわして勝利をものにした。

紙一重の戦力と思われていた本田技研、大同特殊鋼は、大同特殊鋼が第2戦の対中村荷役戦でエースの林（珍）が足を痛めて以後のゲームを欠場。これがひびいて、上位進出に意欲を見せていたものの、前期は対トヨタ車体の1勝だけで6敗を喫した。

本田技研は、緒戦日新製鋼と熱戦の末引き分け、戦力強化が功を奏したと思われたが、大崎電気に2点差、三陽商会に1点差で敗れ、接戦をものに出来ず、前期3勝3敗1分で終えた。

前期の後半、迫力を見せていた中村荷役が、湧永製薬、本田技研に敗れはしたが、やはり台風の目となり上位を狙える位置（4勝2敗1分）をキープした。はじめて1部に上ったトヨタ車体がチームとしては苦戦する中、岡部は堂々個人得点上位6位につけ頑張っているのが目につく。

前期は上位陣をはじめ、各チームの激しい星のつぶし合いが相次ぎ、2位から6位までが勝点2差でひしめく大混戦となった。後期の熱気あるゲームが期待される。

女子一部

混戦の中、日立栃木が優位に

オムロンが飛び出すかと思われた女子であったが、フタを開ければ予想外の混戦となった。

比嘉、中山、橋本、古田、石村の主軸に、2年目の中国ペア、更に新人の西村、高橋の台頭が目立つなど、優勝候補No.1にふさわしい陣容を誇っていたオムロンが、対抗馬の北国銀行に敗れた！ 注目の大一番、オムロン対北国銀行は6月12日、金沢市で行われた。地元の大声援を受けた北国銀行は、前回最終戦で首位の座を明け渡した雪辱に燃え、激しい攻防を展開して好ダッシュ。GK古澤の活躍もあり、一方的にゲームを進めた。リズムをつかもうとするオムロンであったが、北国銀行の勢いを止められず、一方的に押し切られた。オムロンは、その他のカードは順調にものにし、前期を4勝1敗とした。

オムロンに土をつけた北国銀行は、優勝候補の対抗馬にふさわしく連勝を重ねていたが、7月4日、敵地に乗り込んでの対日立栃木戦で全勝にストップをかけられた。2部から返り咲いた日立栃木には入れ替戦の時から勢いが感じられていたが、一気に優勝争いに加わってきた。地元の有利さもあったが、大声援をバックにはつらつとプレーし、二部に甘んじていたうっぷんを晴らすかのように快勝した。この1敗で北国銀行も前期4勝1敗。更に日立栃木も対オムロン戦の1敗のみで、前期4勝1敗の大活躍で、女子はオムロン、北国銀行、日立栃木が勝点8で並ぶ混戦。日立栃木は市来、飯塚らに蒋、陳の中国ペアが加わり、スケールアップしており、後期でも上位陣と対等に戦うと予想され、女子の優勝の行方は全く予想できない状況となってきた。今一つ元気の出ないシャトレーゼ、ジャスコにも後期を期待する材料は充分であり、一部へ久しぶり復帰のブラザー工業の成長ぶりも楽しみである。

日本リーグ一部通算得点ベスト10
(平成5年7月13日現在)

		氏名	チーム	得点
男子	※①	西山　清	(日新)	615点
	②	蒲生　晴明	(大同)	611
	※③	玉村　健次	(湧永)	479
	※④	首藤　信一	(大崎)	468
	⑤	山本　伸二	(湧永)	413
	※⑥	山村　敏之	(本田)	376
	⑦	宮下　和広	(大崎)	365
	※⑧	呉　龍基	(中村)	353
	⑨	佐藤　要二	(本田)	327
	⑩	関　健三	(三陽)	308
女子	①	ユン・ビュンスン	(大崎)	415点
	②	長田　友子	(日ビ)	366
	③	金　玉花	(大崎)	363
	④	前田　重子	(日立)	315
	⑤	武藤　夕起子	(日ビ)	307
	※⑥	比嘉　晴美	(オムロ)	304
	⑦	野嶋　ちえみ	(オムロ)	300
	⑧	石井　美沙子	(大崎)	264
	⑨	丸田　紀子	(大和)	262
	⑩	西　典子	(大崎)	256

※印は現役選手

男子二部・女子二部

熾烈な女子の上位争い

〔男子一部〕

一部自動昇格の1位の座をめぐり、再起を期す5勝2敗のトヨタ自動車に対し、本田技研熊本が全勝で前期を折り返した。2位につけた日本電装(5勝2敗)、そして北陸電力(4勝3敗)も上位を狙っている。後期の上位争いが楽しみである。

〔女子二部〕

ブラザー工業、日立栃木が一部へ昇格し、降格した大和銀行、大崎電気が返り咲きを狙って上位をキープしている。大崎電気5戦全勝、大和銀行4勝1敗、それに3勝2敗でソニー国分が続いている。JUKI、ムネカタ、日本ビクターは今一つ実力を出しきらないシーズンであった。

女子二部は、今大会3位争いが重要と成る。第19回大会より女子一部リーグは、現在の6チームから8チームへ変わる予定であり、二部の上位2チームは自動昇格、二部の3位が一部の6位と入れ替え戦を行うという変則扱いとなるからだ。

女子一部リーグもプレーオフを導入するとのことから、一部のチーム数を男子並にするこの扱いで二部チームへも影響を与えることとなり、後期もその意味では下位チームと言えどもチャンスを手に入れることが可能であり、順位の行方が楽しみである。

後期は9月27日に東京体育館で再スタートして、11月21日まで熱戦を展開する。男子は同月27、28日のプレーオフ（東京体育館）で優勝が決定する。

第18回日本ハンドボールリーグ成績表（前期終了時点）

［1部男子］	湧永	日新	本田	大同	大崎	中村	三陽	トヨ車	勝数	分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差	順位
湧永製薬		○31	○26	○30	○26	○23	○25	○40	7	0	0	14	201	160	41	1
日新製鋼	●28		△19	○29	○25	●22	○25	○37	4	1	2	9	185	159	26	3
本田技研	●22	△19		○25	●22	○25	●23	○28	3	1	3	7	164	149	15	6
大同特殊鋼	●17	●19	●18		●19	●29	●20	○39	1	0	6	2	161	176	−15	7
大崎電気	●25	●18	○24	○21		●16	○30	○27	4	0	3	8	161	150	11	4
中村荷役	●17	○25	●18	○32	○19		△25	○33	4	1	2	9	169	158	11	2
三陽商会	●24	●21	○24	○21	●23	△25		○34	3	1	3	7	172	173	−1	5
トヨタ車体	●27	●26	●20	●18	●16	●18	●25		0	0	7	0	150	238	−88	8

（2位、3位及び5位、6位の順位は当該チーム間の勝点による）

［1部女子］	オムロン	北国銀行	シャトレーゼ	ジャスコ	日立栃木	ブラザー	勝数	分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差	順位
オムロン		●21	○28	○37	○18	○34	4	0	1	8	138	120	18	3
北国銀行	○30		○34	○32	●21	○37	4	0	1	8	154	131	23	2
シャトレーゼ	●18	●26		●22	●16	○33	1	0	4	2	115	140	−25	5
ジャスコ	●26	●31	○24		●29	○34	2	0	3	4	144	154	−10	4
日立栃木	●17	○28	○30	○30		○34	4	0	1	8	139	117	22	1
ブラザー工業	●29	●25	●24	●33	●33		0	0	5	0	144	172	−28	6

（1位、2位、3位の順位は当該チーム間の得失点差による）

［2部男子］	トヨタ	三景	日本電装	本田熊本	北陸電力	大阪ガス	竹芝精巧	豊田織機	勝数	分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差	順位
トヨタ自動車		○29	●32	●26	○30	○28	○25	○27	5	0	2	10	197	183	14	3
三景	●22		○28	●19	●22	●25	○30	●24	2	0	5	4	170	187	−17	7
日本電装	○35	●24		●27	○45	○39	○44	○38	5	0	2	10	252	194	58	2
本田技研熊本	○28	○31	○35		○28	○35	○35	○41	7	0	0	14	233	169	64	1
北陸電力	●25	○24	●24	●26		○25	○29	○20	4	0	3	8	173	193	−20	4
大阪ガス	●24	○27	●25	●23	●23		○33	○31	3	0	4	6	186	198	−12	5
竹芝精巧	●23	●26	●25	●28	●26	●26		●25	0	0	7	0	179	225	−46	8
豊田自動織機	●26	○26	●25	●20	●19	●20	○29		2	0	5	4	165	206	−41	6

（2位、3位及び6位、7位の順位は当該チーム間の勝点による）

［2部女子］	大和銀行	大崎電気	JUKI	ソニー	ムネカタ	ビクター	勝数	分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差	順位
大和銀行		●28	○29	○25	○35	○41	4	0	1	8	158	108	50	2
大崎電気	○32		○30	○37	○35	○50	5	0	0	10	184	89	95	1
JUKI	●22	●18		●19	○32	○35	2	0	3	4	126	111	15	4
ソニー国分	●21	●23	○22		○23	○37	3	0	2	6	126	114	12	3
ムネカタ	●18	●10	●12	●20		●16	0	0	5	0	76	143	−67	6
日本ビクター	●15	●10	●18	●13	○18		1	0	4	2	74	179	−105	5

※順位は前期終了時点のもの

湧永製薬チームの地域活動

湧永製薬ハンドボール部
長沢　純平

湧永製薬ハンドボール部は、広島県高田郡甲田町にあります。来年秋に広島アジア大会、3年後には広島国体とビッグイベントを控え、また甲田町が国体少年の開催地になっているということもあり、地元のハンドボールに対する関心は非常に高くなってきています。そこで甲田町も甲田をハンドボールの町にしようと小学生ハンドボール教室、子供から大人まで自由に参加できる講習会など、積極的にハンドボールに取り組むようになりました。そのような中で、私達湧永ハンドボールチームも少しでも地元に貢献できたら、少しでも子供達に夢と誇りをもたせてあげたいという願いから、地元のハンドボールの普及の為に力をかしております。そこで今回は特に力を力れて行っています小学生ハンドボールについて少し紹介してみたいと思います。

我が甲田町には小学校が3校あり、夏と冬の年2回、ハンドボール教室を行っています。各回共約2カ月、毎週水曜日の午後3時から4時までの1時間、湧永のメンバーが各校に分かれて指導しております。そして教室のしめくくりとして、最後に3校対抗戦が湧永満之記念体育館で行われます。

対抗戦では子供達が非常にハッスルし、多少のルールミス等があるものの、大変盛り上がった大会になります。そして夏の教室、対抗戦が終わると、各チーム（全100人）から有力選手を選抜し、8月の全国大会へ出場しています。全国大会までは、夏休みに入ってから1週間程強化練習を行い、本大会に挑みます。

小学校の大会といえども、全国大会ともなると、短期間の練習で勝たせてくれるほど甘くないことは百も承知ですが、少しでも甲田町の子供達が全国の強豪と肩を並べてプレーできるように、私達も男女各チームに1人ずつ監督となり、指導するようにしています。

昨年は、3年目にして男子が初の1勝をあげ、決勝トーナメントに進むまでになりました。今年も全国大会への出場は決まっておりますが、またひとつ成績があがるよう、またハンドボールの大会が夏休みの一番の思い出になるよう、私達も精一杯力をかしてやりたいと思っております。

以上のように、私達は多少ではありますが、地域のハンドボール活動に協力しているということはわかっていただけたと思いますが、そこで小学生のハンドボールを今まで以上に普及させるためには、どのようにすればよいのかということが問題となります。まず第一に、ハンドボールをする、観る機会をつくることが大切だと思います。ハンドボール教室、講習会、地元での大会（中高生の大会、日本リーグ等）が多く行われ、ハンドボールを知ることが一番です。幸いに、我が甲田町ではハンドボール教室（年2回）、講習会（月1回）、日本リーグ（年1～2回）など地元での催しが比較的多く、子供達も多く参加してくれています。小学生にとっては、ほとんどの子供達がハンドボールを知りません。その為に、ハンドボールを知ることのできる機会をつくるのが普及の為の一番の要因と思います。

次に大切だと思われることは、私達のように地域の人達の協力です。教職員や教育委員会等の関係者の方でしたら比較的協力はできますが、企業となると、私達のような会社と違ってなかなか難しい問題があると思います。しかし、子供達だけではとてもハンドボールを普及させることは無理です。少しでも多くの地域の人達が、小学生ハンドボールの普及ということを理解し、協力してくれることが望ましいと思います。このように、サッカー人気の現在、ハンドボールを小学生から普及させていこうというのは非常に難しいことと思いますが、小学生を取り囲む学校関係、そしてその地域の改善からはじめていかなければとも思います。

普及のためには、次に指導者の確保ということでも問題となります。小学生にでしたらバレー、バスケット、サッカー等は比較的指導しやすいスポーツですが、ハンドボールとなるとなかなか経験がなく、指導が難しいという方が多い為、指導者が減少しているのも事実です。私達の甲田町みたいに、実業団のチームがあったり、また中学校、高校がさかんな地域でしたら小学生の指導者の確保は簡単ですが、これからハンドをというところでしたら、これもやはり難しい問題です。しかし、少しでも経験のある者が小学生を積極的に指導していけば、また前にも述べたように、機会を多くしてやれば、少しずつでも普及していくのではと思います。

最後に、私達のチームにはオリンピック経験者、また全日本選手がおります。私達はいつも子供達に、いつかは私達のような選手にと夢をもたせ、指導しています。また小学生導の為に専任をおくのではなく、チーム全員が指導にあたりルールや勝ち負けは問わず、とにかくハンドボールのおもしろさを教えてあげています。その子供達が私達を目標にして、中学校、または高校へと進んでハンドボールをつづけてくれれば、私達はそれで満足に思います。

そして私達の育てた選手が中央で活躍し、やがては湧永のユニフォームを着る選手が出ることを期待して、これからの地域の活動に積極的に協力、参加していきたいと思っています。

平成５年度

登録人数９万人超す

本年度より中学校体育連盟が（財）日本ハンドボール協会の加盟団体に加わり、これに伴いチームを登録することになった。その結果、中学校を含む全種別登録チームは４、６４１チームとなり、登録人数は９万２、５１８名となった。

中学校が初めての登録のため、完全登録とまではいかず、おおよそ65パーセントの登録があったと思われる。これによりチーム数、人数共大幅に増大した。ちなみに中学校を除いて前年度と比較してみると、登録チームは３、５３１チームで、前年比較67チーム増、登録人数は６万５、０８６人で、同５５６人増となっている。

チーム数は過去10年間、増加を続けている。登録人数は平成２年より増加傾向が見られる。別表に種別登録チーム、人数の推移をまとめてみた。

年度別登録チーム・選手数推移

登録チーム

登録人数

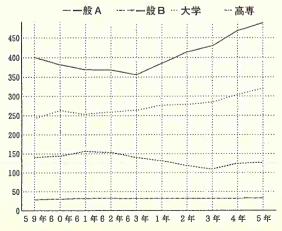
高　校

５年度　種別チーム．人数　登録表

種　別		チーム数			選手人数		
		男　子	女　子	計	男　子	女　子	計
一般Ａ		376	112	488	6011	1792	7803
	前年比較	＋19	＋1	＋20	＋356	＋81	＋437
一般Ｂ		118	9	127	1711	131	1842
	前年比較	0	＋3	＋3	＋84	＋42	＋126
大　学		233	87	320	4183	1453	5636
	前年比較	＋14	＋2	＋16	＋267	＋107	＋374
高　専		32	1	33	650	11	661
	前年比較	0	＋1	＋1	－26	＋11	－15
高　校		1478	1085	2563	30246	18898	49144
	前年比較	＋12	＋15	＋27	－810	＋444	－366
小　計		2237	1294	3531	42801	22285	65086
	前年比較	＋45	＋22	＋67	－129	＋686	＋556
中　学		638	472	1110	17069	10363	27432
		—	—	—	—	—	—
合　計		2875	1766	4641	59870	32648	92518

種別チーム登録

種別選手登録

年度別登録チーム推移

IHFの組織紹介

世界のハンドボールは、国際ハンドボール連盟(INTERNATIONAL HANDBALL FEDERATION＝略称ＩＨＦ)によって統括されており、1993年現在129ケ国が加盟しています。全世界の国数は186ケ国ですから、69%の国が加盟している事になります。加盟国は、その所在地によって5つの大陸連盟(CONTINENT FEDERATION)のいずれかに所属しています。本部はスイスのバーゼルにあります。

総　会　最高の決議機関で、全加盟国が参加し、2年（偶数年）に1回開催されます。

評議会　実行委員会の管理、予算の管理、総会への提案、プログラムの作成、紛争の解決等が主な任務です。会長、副会長、専務理事、事務局長、会計局長、各委員長、大陸代表等18名で構成されています。

実行委員会　評議員会の実行機関で、ＩＨＦの運営を担当します。会長、副会長、事務局長、会計局長、委員長等7名で構成されています。

技術委員会　評議員会の諮問機関で、3つの委員会で構成されています。

その他委員会　評議会の諮問機関で、2つの委員会で構成されています。

加　盟　国

●アフリカ（42ケ国）

アルジェリア　アンゴラ　ベナン　ブルキナ ファソ　中央アフリカ
カーボベルデ　コンゴ　チャド　コートデュボワール　カメルーン
コモロ　ジブチ　エジプト　エチオピア　ガボン
ガンビア　ガーナ　ギニア　ギニア ビソウ　ケニア
リビア　マダガスカル　モロッコ　マリ　モザンビーク
モーリシャス　モーリタニア　ナミビア　ナイゼリア　ニジェール
ルワンダ　サントメ　セネガル　シェラレオネ　ソマリア
スーダン　タンザニア　トーゴ　チュニジア　ウガンダ
ザイール

●アジア（27ケ国）

バングラディッシュ　バーレン　中国　香港　インド
イラン　イラク　ヨルダン　日本　キルギスタン
韓国　サウジ アラビア　クウェート　カザフスタン　レバノン
ネパール　オマーン　ウズベクスタン　パキスタン　パレスチナ
フィリッピン　北朝鮮　カタール　シリア　トルクメニスタン
中華台北　アラブ首長国連邦

●ヨーロッパ（42ケ国）

アルバニア　アルメニア　オーストリア　アゼルバイジャン　ベルギー
ベラシール　ブルガリア　クロアチア　キプロス　デンマーク
スペイン　エストニア　フエロー諸島　フィンランド　フランス
イギリス　グルジア　ドイツ　ギリシャ　ハンガリー
アイルランド　アイスランド　イスラエル　イタリア　ラトビア
リヒテンスタイン　リトアニア　ルクセンブルグ　モルドバ　オランダ
ノルウェー　ポーランド　ポルトガル　ルーマニア　ロシア
スロベニア　スイス　スウェーデン　チェコスロバキア　トルコ
ウクライナ　ユーゴスラビア

●オセアニア（3ケ国）

オーストラリア　ニュージーランド　バヌアツ

●パンアメリカ（15ケ国）

アルゼンチン　ブラジル　カナダ　チリ　コロンビア
コスタリカ　キューバ　ドミニカ　ガテマラ　メキシコ
パナマ　パラグァイ　プエルトリコ　ウルグァイ　アメリカ

役　員

会長	ERWIN LANC	オーストリア
副会長	BABACAR FALL	セネガル
〃（アフリカ）	CHRISTOPHE YAPO ACHY	コートディボワール
〃（アジア）	SHEIKH AHMAD	クウェート
〃（ヨーロッパ）	STAFFAN HOLMQVIST	スウェーデン
〃（アメリカ）	PETER BUEHNING	アメリカ
専務理事	RAYMOND HAHN	フランス
会計局長	RUDI GLOCK	ドイツ
アフリカ代表	NABIL SALEM	エジプト
アジア代表	KIM CHONG-HA	韓国
ヨーロッパ代表	KARL GÜNTZEL	スイス
アメリカ代表	WALTER SCHWEDHELM	カナダ
事務局長	JöRG BAHRKE	スイス

■技術委員会

編成、競技委員会（略称　COC）

委員長	OTTO SCHWARZ	スイス
委員	ERIK LARSEN	デンマーク
〃	ALEXANDER KOZHUKHOV	ロシア
〃	MIQUEL ROCA MAS	スペイン
〃	RACHID MESKOURI	アルジェリア
〃	AHMED NASER AL FARDAN	アラブ首長国連邦
〃	MICHAEL WIEDERER	オーストリア
〃	PETER BUEHNING	アメリカ

競技規則、審判委員会（略称　PRC）

委員長	ERIK ELIAS	スウェーデン
委員	ΦIVIND BOLSTAD	ノールウェー
〃	JANIS GRINBERGAS	リトアニア
〃	THEODORUS KIELHORN	オランダ
〃	FERDINAND KITSADI ZORRINO	コンゴ
〃	CHUN-JO PARK	韓国
〃	WILLI HACKL	ドイツ
〃	CHRISTER AHL	アメリカ

指導、方法委員会（略称　CCM）

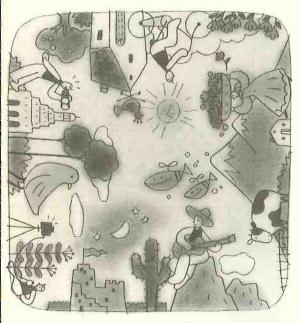
委員長	HASSAN MOUSTAFA MOUSA MOUSTAFA	エジプト
委員	HEINZ SUTER	スイス
〃	JEAN-MICHEL GERMAIN	フランス
〃	ALLAN HENNING lund	デンマーク
〃	DIETRICH SPÄTE	ドイツ
〃	JUAN DE DIOS ROMAN SECO	スペイン

■その他委員会

医事委員会（略称　MC）

委員長	GYS LANGEVOORT	デンマーク
委員	JIRI JESCHKE	チェコスロバキア
〃	WALTER PALLAMAR	オーストリア
〃	FRANÇOIS GNAMTAN	コートディボワール
〃	SVERRE MAEHLUM	ノルウェー
〃	ROMAN ZUBOV	ロシア

広報、普及委員会（略称　CPD）

委員長	HANS-GEORG HERRMANN	ドイツ
委員	PETER MÜHELMATTER	スイス
〃	CARIN NILSSON GREEN	スウェーデン
〃	SAID BOUAMRA	アルジェリア
〃	RALF DEJACO	イタリー
〃	VLADIMIR KRIVCOV	ロシア

全日本実業団連盟

レフェリー紹介

全日本実業団連盟審判部長　西村　興八

実業団連盟の永年の課題であった自らの審判養成制度による審判員の養成が、平成3年度より、日本協会審判部の諸先輩方の賛同を得て取り組んでいます。

まず、養成の因として下記が考えられます。

1）連盟自身の自活
2）人材の養成、能力の発掘
3）連盟内の総合力の向上
4）審判レベルの向上
5）大会経費の削減

なんといっても実業団の大会は、実業団自身であり、審判、競技等を管理し、自活する趣旨を主体としていました。各連盟が各種目ごとに各々異なった特徴を持っており、審判派遣を他連盟に頼っていることに、運営上の支障をきたしていることを痛感し、この点を改善すべく、B級資格習得者養成へとスタートすることになりました。

B級資格習得に際し、左記コースを適用しました。

1）前期：JHAレフェリーコース
2）後期：全日本実業団トーナメント大会

応募資格者は、日本リーグ経験者及びその同等の実連内の功労者とし、現役後の人を主な対象とし、各チーム責任者からの推薦者を連盟支部で審査し、日本協会審判部へ応募する形をとっております。一方、この運動のバックアップとして、日本協会審判部から、応募者の地元での大会になるべくレフェリングの機会を多く与え、熱き指導を受けるべく、各都道府県の審判長殿に指導依頼状が配布されています。この様な背景の元に、平成3年、4年共、受験生は全員が学科・実施共に合格し、20名のB級有資格者が誕生し、成果が出たことを高く評価しております。

各審判員は、当連盟の大会ばかりでなく、他連盟の大会にも積極的に参加し、各々のレベルのスピードに適応すべく、技術を練磨し、地区に貢献していただき、審判団の〝核〟となって活動することを切望しています。

さらに、連盟内のトーナメント大会の優秀な者を選手権大会へ選抜し、実業団レベルのレフェリングを達成できるようにしています。

各チームに帯同できるレフェリーを確実に定着させ、将来は技術・能力ごとにクラス分けし、審査・チェックして、優秀なレフェリーには年間で表彰するようにしたいし、A級資格者へと昇格させ、さらに各チームの国際交流には専属レフェリーへの専従化へと発展させたい。やはり私の一つの希望ではありますが、特に女子チームの中から往年の名選手の現〝かあちゃん〟レフェリーを育成し、女子のレフェリーの希少化を解消したいと考えています。

私も二度、イタリアへ審判で参加しましたが、イタリアでは数ペアの女子レフェリーを見て来ました。特に女性は黒のレフェリーユニフォームがフィットし、スマートな感じがします。特におかあさんになってからの審判姿は、子供に強いインパクトを与えることを信じるものがあります。

近き将来は、実業団連盟から他

連盟の大会へレフェリーを派遣し、いままでの恩返しをしなければならないと思っております。

今回、誌上を拝借し、当連盟のレフェリーの紹介の意味で、写真を掲載しますので、各チームの皆様、当連盟養成レフェリーに熱きご指導とご鞭撻をお願いします。

私たちの審判員の養成活動が、今後は日本ハンドボールの向上に底辺から貢献し、コートを離れた選手がレフェリーとして、再びコートに戻ってきてくれる姿に熱き拍手をおくりたいと思います。

当連盟は今後とも、日本協会審判部のご協力を受け、この養成活動を続けていきますので、今後とも宜しくお願い致します。

以上のことが、ハンドボールの底辺の発展することを確信してやみません。

尾形　幸男（セントラル自動車）

吉賀　幸男（セントラル自動車）

山本　興道（大崎電気）

土川　一樹（大同特殊鋼）

濱野　健一（大同特殊鋼）

牛木　達（ＪＵＫＩ）

福地　新也（ＪＵＫＩ）

鳥羽　勇（日鐵建材工業）

佐々木信男（本田技研熊本）

喜井　美雄（本田技研）

湯中　勝（日新製鋼）

日野　栄二（日新製鋼）

西田　民夫（本田技研鈴鹿）

松下　義文（本田技研鈴鹿）

船谷　真和（本田技研）

内田　明克（湧永製薬・東京）

大城　和彦（湧永製薬・東京）

長野　一彦（本田技研熊本）

松永　章（本田技研熊本）

森田　佳光（日新製鋼・東京）

1993年女子世界選手権大会（ノルウェー）

ノルウェーでの、女子世界選手権大会での準備は既に全力投球である。今年の3月、主催者は、ノルウェーワイルドキャットのマスコットとともに最初の情報を手紙で送りだした。国中多くの関心を誘いながら、ノルウェー連盟は全部で12の都市で試合を開催します。主催都市：ベルゲン、ボド、ドラメン、エイドボル、フレッドリクスタッド、オスロ、サンデフヨルド、スケイン、スタンゲ、スタバンガル、トロンドハイム、そしてオスタートーテン。

A組　ノルウェー　ポーランド　ハンガリー　スペイン
B組　ロシア　デンマーク　韓国　リトアニア
C組　ドイツ　ルーマニア　スウェーデン　アンゴラ
D組　オーストリア　中国　UCS（旧チェコスロバキア）．アメリカ

HANDBALL
VM '93

ジュニア世界選手権大会（エジプト、ブルガリア）

男子組み合わせ

A組　スウェーデン　ルーマニア　オーストリア　韓国
B組　ロシア　デンマーク　ヨーロッパ4　ポーランド
C組　スペイン　ヨーロッパ1　ヨーロッパ5　パンアメリカ
D組　アイスランド　ヨーロッパ2　エジプト　アルジェリア

女子組み合わせ

A組　ロシア　ルーマニア　ベラルス　日本
B組　韓国　ドイツ　北朝鮮　ヨーロッパ4
C組　デンマーク　ヨーロッパ1　中国　パンアメリカ
D組　スウェーデン　ブルガリア　ヨーロッパ3　アルジェリア

女子、ジュニア男子、ジュニア女子の場合、1995年から世界選手権は20チームで開催されます。アフリカ、アジア、ヨーロッパとパンアメリカの大陸は各々2つの義務的な代表権があります。オセアニは当分の間一つの代表権があります。1995年の全ての3つの選手権大会の予選はその大陸で開催されます。世界選手権大会の日付は変わりません：ジュニア男子とジュニア女子の選手権大会は9月に、女子は12月に開催されます。

1995年世界選手権大会 男子・アイスランド／女子・2ケ国の立候補

最近まで1995年女子世界選手権を前向きに捉えるオーガナイザーはいなかったが、二つの連盟が関心を示し名乗りを挙げた。ハンガリーまたはデンマークがある条件のもとでオーガナイザーになるであろう。IHF理事会と総会が最後の決定を行うであろう。

IHFから 新しい世界選手権方式が理事会を通過

4月中ごろ、バーゼルでの最後のミーティングで国際ハンドボール連盟は将来の世界選手権の新しい方式と組織に関して決定した。

男子は最初4つの予選グループで24チームがプレーし、そこでは各々のチームは5試合行う。各々のグループで下位の2チームは除外されます。残りの16チームがカップシステムで世界チャンピオンを決定する。

1997年から、世界選手権は5月か6月に2年毎に開催します。アフリカ、アジア、ヨーロッパ、そしてパンアメリカの大陸は各々3つの義務的な代表権があります。予選は各々の大陸で開催します。ただ世界選手権の主催国は除外されます。

新しい世界選手権方式は各々5チームの4つの予選グループで20チームの参加になります。そしてそれ以上の試合は、対応するグループで行われます。このことは、予選で（第1次予選）それぞれのチームは4試合することになります。ここで、また、16チームがメインラウンドの資格を得ます。メインラウンドは世界チャンピオンを出すためにカップシステムを使用します。

男子と女子の世界選手権大会の場合、オリンピックの前の世界選手権大会は同時にオリンピック予選になります。

新しい3つの仮メンバー

全ての法定の必須条件が満たされた今、会長のエドウイン・ランクは法令の22・4の条項によってまた理事会の同意によって仮メン

バーとしてIHFにチェコ共和国、スロバキアそしてマケドニア（前ユーゴスラビア共和国）の受け入れを認めた。1994年の総会が最終的な許可をする事になるだろう。IHFのメンバーは仮メンバーを含めて131カ国である。

アフリカ	42カ国
アジア	27カ国
ヨーロッパ	44カ国
オセアニア	3カ国
パンアメリカ	15カ国

追放されたレフェリー

レフェリーペアはヨーロッパカップの費用を水増ししたため6ケ月間追放された。その二人はホストクラブに超過分払い戻さなければならないだろう。PRCは追放されたレフェリーの振舞いについて"IHFや仲間のレフェリーに対して不名誉なこと"と考えている。

MC（医事委員会）から ノルウェーでのスポーツドクターのシンポジウム

反ドーピングを取り扱う事が次の4年間のMC（IHF医事委員会）が直面している唯一の仕事ではない。事実、委員会は、活動的な会長ドクター・ギス・ランゲボールトのもとで、測定の全シリーズを計画しているところです。

●世界選手権大会での怪我の統計値。これはスウェーデンの世界選手権で始まった。

●過去5年間のスポーツ医学参照書目録がまもなくバーゼルで利用できる。

●ヨーロッパ連盟はそのイベントを支援する。

●女子選手のIDカードを取り扱いそして記録すること。それはIHFによって要求され続けていたものであるが、現在420人の女子プレーヤーの詳細があります。

MC委員長ランゲボールト

ノルウェーでの女子世界選手権大会を考慮して、MCは今秋スポーツドクターのシンポジウムを計画しています。生理学、トレーニング、精神的外傷、リハビリ、伝染病そして倫理学が議事日程の部分です。

計画された日にちは11月の最初の週である。

次のミーティングはクウエイトで

アジアハンドボール連盟会長でIHF副会長のシェイク・アーメドの招待で、IHF理事会はクウエイトにて1993年10月14～17日に次のミーティングを開催する。

公式派遣団

事務局長レイモンド・ハーン（フランス）と会計のルディ・グロック（ドイツ）は公式派遣団としてオーストラリアを訪問した。：二人のIHF代表はシドニーのオリンピック施設を視察し、組織委員会の簡単な報告会に出席した。結論：シドニーの条件は傑出している。特にオリンピックハンドボールにとって。

IHFイベント 1993～1995

●**総会（CONGRESES）**

1994 オランダ 可能性として日時：9月6日から11日 または9月13日から18日

1996 アトランタオリンピックに先だって

●**シンポジウム**

1993 女子コーチのシンポジウム オーストリア 8月23日から29日

1995 コーチとチーフレフェリーシンポジウム：ギリシャ

●**世界選手権**

1993 男子ジュニア エジプト 9月8日から18日

1993 女子ジュニア ブルガリア 9月1日から15日

1993 女子世界選手権 ノルウェー 11月24日～12月5日

1995 男子世界選手権 アイスランド 5月～6月

1995 男子ジュニア ギリシャ 9月1日～20日まで

1995 女子ジュニア 立候補なし 9月1日～20日まで

1995 女子世界選手権 申し込み：デンマークそしてハンガリー 11月21日から12月15日

アフリカ大陸から アフリカ連盟20周年祝賀

アフリカ連盟は1973年1月15日にラゴスでの第2回アフリカ

大会の時に設立され、最近20周年のお祝いをした。48ヶ国の協会によってなされ、その内42ヶ国はIHFのメンバーである。常務理事会は特に変わっておらず、４つのポジションのうち３つを占めているのは、会長フォール（セネガル）、第１副会長ナビル・サレム（エジプト）、会計ツクリストフ・ヤポ（象牙海岸）である。

アジア大陸から
1997年世界選手権大会に関心

スウェーデンでの世界選手権大会の折り、日本の第２副会長ヨシヒデ・ワタナベは、オット・シュヴアルツ、IHF・COC委員長に、日本のハンドボール協会が１９９７年世界選手権大会のホスト国になる事に関心がある事を通知した。

このタイトル大会は、九州の熊本県で開催されるだろう。その地区の中心は東京から飛行機で90分である。ゲームは山鹿、熊本、天草の競技場で行われるだろう。それぞれは３０００～４０００人の収容能力がある。

世界選手権大会の開催を許可したら別に１万人収容の競技場が作られる。

ヨーロッパ大陸から
ヨーロッパ選手権予選―最初の結果

第１回のナショナルチームによるヨーロッパ選手権大会（１９９４年）は、男子はポルトガルで、女子はドイツで開催し、長い影を投げかけ始めた。ＥＨＦは昨年の終わり、くじによってグループを選んだ。最初の予選はほとんど開催されていない。

男子

グループ１　ルーマニア　デンマーク　スロバキア　ウクライナ　モルドバ

グループ２　ハンガリー　ノルウェー　スロベニア　リトアニア　ジョージア

グループ３　スウェーデン　オーストリア　トルコ　エストニア　ベルギー

グループ４　アイスランド　フィンランド　ベラルス　クロアチア　ブルガリア

グループ５　フランス　ドイツ　オランダ　ギリシャ　イスラエル

グループ６　スペイン　スイス　ラトビア　ポーランド　キプロス

グループ７　ロシア　チェコ　イタリア　ルクセンブルグ

ホストのポルトガルは自動的に資格を得る。ＥＣＨ（ヨーロッパ選手権大会）は１９９４年６月３～12日に開催する。

女子

グループ１　ポーランド　ハンガリー　ウクライナ　スロベニア

グループ２　ロシア　イタリア　アイスランド　ポルトガル

グループ３　オーストリア　スロバキア　トルコ　ベラルス

グループ４　ルーマニア　スウェーデン　スイス　ジョージア

グループ５　ノルウェー　フランス　ラトビア　リトアニア

グループ６　デンマーク　スペイン　モルドバ　クロアチア

グループ７　ブルガリア　オランダ　チェコ　アゼルバイジャン

ホスト国ドイツは自動的に参加資格。ＥＣＨ（ヨーロッパ選手権大会）は９月17日～25日に開催する。

■女子試合結果（到着分）

ジョージア14―28スイス

スイス38―13ジョージア

スペイン28―26クロアチア

ポーランドで
オールスターチームがプレイ

ポーランド協会の75周年を祝うために、ヨーロッパ女子オールスターチームは、コットワイズの近くのサブレで１９９３年６月26日にポーランドナショナルチームとプレイする。ＥＨＦのＴＣはマネジャーとしてギュンナー・プロコップ（ＡＵＴ）、そしてコーチとしてボギャン・マコベイ（ＲＯＭ）とスベン・トーレ・ヤコブセンを推薦した。

NAMES+DATE

エルウイン・ランク国際ハンドボール連盟会長はＡＳＯＩＦ（オリンピック夏季スポーツ協会の国際連合）の総会で大きな成功をおさめた。アトランタのオリンピック市で３月に開催された会議で、代表達は彼を常務委員会のメンバーに選出した。彼は全ての候補者の中で２番目に高い投票を集めた。ＡＳＯＩＦ会議のメンバーとしての任期は４年である。これはＩＨＦが国際スポーツ協会の常任委員会にハンドボールの代表をマネージした最初の事である。ＡＳＯＦの会長、プリモ・ネビオロは、ランクへの祝福の手紙のなかで次の様に言っている。「この結果は、ＩＨＦのあなたの仕事が私達仲間に対して如何に価値がありそして尊敬できるものかと言うことを明確に示しております。私はあなたと仕事をすることを楽しみにして待っております。そしてあなたの協力とアドバイスで私たちがミーティングで定めた目的に到達出来る

ことを確信しております。同時にわたしはアトランタ会議の間あなたの協力に対してあなたと貴連盟に感謝を表明したい」

IHFの理事長レイモンド・ハーン（FRA）もその総会に出席した。

＊　＊　＊

アームド・ナーサー・アル・フアルダンは（IHF・COCメンバー）彼の国で偉大な名誉を与えられた。UAE（アラブ首長国連邦）のNOCは彼を事務総長に選出した。役職の期間は1996年まで。

＊　＊　＊

最近アイスランドハンドボール連盟の常務委員会によって推薦された1995アイスランドWC(男子）の組織委員会は質の高いメンバーを自慢の種にしている。マグナス・オッドソンは（アイスランド旅行会社のマーケティングディレクター）委員長である。メンバーは次の人である。ユリウス・ハフステイン（レイクヤビックの市議会のメンバーでレイヤビックハンドボール連盟の会長）グスタフ・アーナー（アイスランド郵便局の主任技師）ヤコブ・ブヤーナソン（アイスランド国立銀行のマネジャー）そしてアスゲイア・ソーダーソン（保険グループのマーケティングディレクター）

＊　＊　＊

エリック・エリアスは（IHF・PRC委員長）とベングト・ヨハンセン（スウェーデンナショナルチーム監督）は最近ブラジルへの長期に渡る旅行から戻った。コーチやレフェリーのトレーニングをし彼らの仕事に対して多くの賞賛を得た。エリアスは8月に再びスーツケースを詰めて、IHFの管理下でのアジア選手権大会の監視者にならなければならない。

＊　＊　＊

ドクター・ピーター・ブーニングは（IHF・第2副会長でパンアメリカ連盟の会長）1996アトランタオリンピックの組織委員会にたいしてIHFを代表するように理事会から公式に指名された。ブーニングは立ち上がる質問を処理するための現地交渉をすることになる。

ベングト・モハンセン

エリック・エリアス

＊　＊　＊

ドクター・ハッサム・ムスタファ（IHF・CCM委員長バルセロナの総会以来）は別の重要な仕事に就任した。毎年開催されるエジプトのオリンピック委員会で事務総長に選ばれた。

ハンドボールインターナショナル

未来のハンドボールは……スペインスポーツ教育学会によって1993年7月1～4日に開催されたハンドボール専門家の総会のテーマである。ジュアン・デ・ディオス・ロマンは（IHF・CCMメンバースペインでのハンドボールの教授）このイベントのヘッドである。総会の参加者は以下の主なテーマを取り扱う。コーチのトレーニングと上級のトレーニング／プレイヤーのトレーニング／ハンドボールの将来と強化／ハンドボールのルールの解彩と応用／財政の専門的組織／国際的に良く知られているチュン・キュン・ヒュン、ベングト・ヨハンセン、ディートリッヒ・スペート、エリック・エリアス、オイビント・ボルスタット、ハインツ・ズッター、ハンス・ヨアヒム・ミューラー、ギュンナー・パターソンがスピーカーである。

＊　＊　＊

フランスは7月13～25日マルセイユ地方で開催されるJeux de la Francophonie(地中海大会）の今年のホストである。ハンドボールはプログラムの一部である。申し

ディオス・ロマン

ディートリッヒ・スペート

ハインツ・ズッター

チュン・キュン・ヒュン

ハッサン・ムスタファ

込みはフランス、ルーマニア、カナダ、チュニジア、カメルーン、象牙海岸、コンゴ、ギニア、セネガルからあった。

＊　＊　＊

チェコスロバキアの政治的分離はレフェリーやIHFスタッフにも同様な分離を導いた。チェコ共和国から：ドクター・イェシケ（IHF医事委員会メンバー）そしてレフェリーとしてブベニセク、バレンタ、コネシィ、オンドラスそしてコホウト。スロバキア共和国から：レフェリー・モザ、ルディンスキー、コレク、モルナー、ランシック、ベノ、グラス、リッターそしてシュワルツベッヒャー。

＊　＊　＊

外国（人）ぎらい－私を除外して下さい－このスローガンをもって、ドイツハンドボール連盟は外国ぎらいと人種差別主義に反対するドイツスポーツの立場を示した。ドイツハンドボール連盟は、ザールブリュッケンのヨアヒム・デッカルム競技場の献堂式として開催されたハンドボールフェスティバルのあった昨年暮れにキャンペーンをはった。それ以来13リーグでキャンペーンを推進するビラが出された。

＊　＊　＊

FISU（フス・国際学生スポーツ連盟）は最近次の世界学生選手権大会のスケジュールの調整のためにIHFと集まった。女子の試合が1994年6月15～25日スロバキアのブラティスラバで開催される。一方男子は1994年12月19～30日、トルコのイズミールでチャンピオンを決める。

＊　＊　＊

グリンピースは2000年オリンピックを招くシドニーの立候補を支援する。プレス報道によると環境保護組織はその理由を次のように述べた。オリンピック村はソーラーシステムの装置やCFC－フリー冷却装置などがグリーンピースのカイドラインに添っているためである。グリーンピースによるとこれや他のプロジェクトはオーストラリアを21世紀に向かって正しい道に導いているとしている。

ドイツ研修レポート

スポーツ・フェスティバルを観て

田口　隆

今回は、私が通っているケルン体育大学で行われたスポーツ・フェスティバルの模様について報告したいとペンを取りました。

このスポーツ・イベントは"KÖLN SPORTS SHOW"と呼ばれるもので、各種のスポーツ競技の面白さを学生はもちろん、ケルン市民にもわかってもらうという事を主眼に行われました。

そして、他競技はどうであったかは私自身、見学する事が出来ずわかりませんが、ハンドボールでの様子を伝えましょう。

まずテーマとしては「ハンドボールの2000年」と題し、私のクラスのチームとケルン近辺のクラブでプレーしているブンデスリーグのプレーヤーを集め、一つのチームを作り対戦するという形で行われました。ただ試合をするというのではチームとしての「ハンドボール2000年」を見に来ている人たちに伝えることが出来ないため、少々コミカルなプレーも含め、ハンドボールの激しさ、DFシステムの紹介、フォーメーションプレー（GKを攻撃に参加させる事もあった）等、事前に各チームで打ち合わせを行い、当日となったのですが、試合内容というか発表内容というかわかりませんが、私のクラスのチームが実力的に相当劣っているという事もあり、混成チームの方だけが観客に上手に伝える事が出来たのではないかと思いました。しかし、内容はさておき、今回私が強く感じた事は、現役の学生たちが今のハンドボールを見て、また行い、感じている事を学生のレベルではあるものの、各々が真剣に将来どの様にしてハンドボールがより魅力的であるかを考え、回りの人たちにも共鳴してもらおう、また自分の考えをしっかり持っていたいという表われとも受け取る事が出来ました。

折しも6月に私が参加したIHFトレーナー・シンポジウムにおいても、ハンドボールの21世紀に向けて、ルールの面からプレーの面からも、スターを育てるという事など多くの考えが報告・発表されました。こういう動きからも、世界はあらゆる人間がハンドボールの将来を考え、他の競技に負けないくらい魅力的なものにしようと一生懸命取り組まれています。

日本においても、いろいろな人がハンドボールの将来を心配し、いろいろな事を考え、またいろいろな事に果敢にトライしている方がみえると思いますが、そのような人たちの和をもっと大きく大きくしていけないでしょうか。そうすれば人間一人では出来ない事も、多くの仲間となら出来る事もある様に思います。そのためにも、私もこのドイツで残された時間、今までにも増して研修に励み、また多くのよいハンドボールの仲間を作りたいと思います。

委員会報告

機関誌委員会

機関誌はどう在るべきか

（アンケート調査の結果報告）

日本ハンドボール協会の機関誌も発刊以来、平成5年8月で33号を数えるに至りました。この間、関係者のご努力で内容についても、種々の改善が重ねられ今日に至って居ります。

平成4年度の委員更送に伴い、先ずタイムリーにニュースをお届けするために「決めた発行日を守る」ことと、加盟団体の活動状況の報告に重点をおいてスタート致しました。締切日までに到着する原稿は50％以下、何時来るか判らない原稿を手を空けて待っては居られないと言う印刷所。督促、調整を重ね何とかその月の3日までには発送できるようにはなりましたがまだまだ満足出来る状態ではありません。

加盟団体の報告も毎号なんとか続けて来られ、読者の皆様も興味を持って頂けて居るようです。

今年4月の人事で機関誌委員会のメンバーにも異動が在りましたが、前年の実績の上に更に改善を積み上げて行こうとしています。

毎月、編集に追い回されるなかで、委員一同、このままでよいのだろうか？　機関誌はどう在るべきなのか？　もう一度原点に帰って考えて見ようと言う事になりました。

その手初めとして、読者の皆様方のご意見を広く伺がって見ようということでアンケート調査を実施致しましたので、その結果についてご報告致します。

■こんな記事がほしい（ベスト5）

1、指導方法（トレーニング計画等の具体的なもの）
2、海外情報（運営、大会結果、技術等の情報）
3、チーム紹介（各層のユニークなチーム）
4、日本協会の動き（各種会議、委員会の内容の詳細）
5、ルール解説（特に改正時）

■機関誌に望むこと（ベスト5）

1、もっと早く（ニュースが古い）
2、協会がなにを目指し、何を行って居るのかをはっきりさせよ
3、ハンドボールの将来展望を明確に打ち出せ
4、機関誌の性格を明確にせよ
5、ユニークな誌面づくりに努力せよ

以上のように全国の多くの方々からご回答を頂きましたこと深く感謝申し上げると共に、この貴重なご意見を限られた予算とスタッフでどの様に機関誌編集に反映させて行くかこれから充分に検討して行きたいと考えて居ります。

アンケート調査結果

回答者の内訳

高専チーム2.4％
各連盟役員3.7％
学連チーム4.9％
評議員 7.3％
実連チーム7.3％
県協会役員 13.4
2.4％ 日本協会役員
36.6％ 賛助会員
22％ 高校チーム

◎実施日
平成5年6月1日～6月30日
◎調査対象
全体を8つに層別。それぞれの抽出数を決定したのち対象者を無作為に抽出
◎調査数
発行部数の約5％
◎回答数
82（回答率50.6％）

アンケート内容及び回答

1．機関誌を読んでいますか

読んでいない 2.4％
時々読んでいる 28.1％
毎月読んでいる 69.5％

2．機関誌の発行希望回数

3．興味を持った記事は

1.9％ その他
ナショナルチーム関係 21.5％
委員会報告 17.7％
日本協会ニュース 17.1％
大会報告 15.2％
監督選手手記 11.5％
各協会便り 11.4

4．各種大会のスコアは（県大会以上）

3.7％その他
要 56.1％
不要 40.2％

指導委員会

活動内容とお願い

■指導委員会の目的

一、指導者の育成、研修を通して日本のハンドボールの発展に寄与していくことを目的とする。

二、一の目的を達成する中で日本のハンドボールの指導体系の一貫化を計る。

■指導委員会の事業

一、公認指導者の養成

A スポーツ指導員（地域指導者）都道府県単位で育成

B コーチ（競技力向上指導者）中央協会で育成

二、指導者の研修制度

ハンドボールの技術・戦術・指導法の研修を通して指導者の資質の向上を計る。

A 海外研修

○IHFコーチシンポジウム・IHFレフェリー・コーチシンポジウム等

○世界選手権大会等における技術戦術的資料の収集

B 海外からの指導者招聘

C 国内研修

○中央で行う研修

ハンドボールシンポジウム（隔年開催）

三、ハンドボールの技術・戦術・指導法に関する研究

A 日本の競技力の評価と課題

B 技術戦術指導法に関する研究

C 視聴覚教材の作成

D 用語の統一

E 施設用具に関する研究

F パソコンによるゲーム分析プログラムの作成

■事業実施報告（平成4年度）

一、組織づくり

今年度からブロック委員を選出し全国組織とした。

平成5年2月28日、第1回全国指導委員会開催。

二、公認指導者の養成講習会の実施

○競技力向上指導者　初級（コーチ・ハンドボールC級）養成講習会

○地域指導者　初級（スポーツ指導員・ハンドボールC級）養成講習会

県ハンドボール協会及び体育協会の主催で茨城、沖縄、愛知にて実施。

三、指導法教本の作成

日本ハンドボール協会編「ハンドボール指導法教本」完成。大修館書店出版

四、海外研修

世界ハンドボール選手権大会（スウェーデン）笹倉清則・村松誠（指導委員会委員）が情報収集

五、公認指導者の登録問題

旧制度資格取得者の資格移行

六、指導体制の一貫化について

小学生からナショナルチームまでいかにして一貫化した指導体制を組むか、大きな課題として取り組んでいる。強化委員会、普及委員会との合同事業として取り組んでいく。

七、用語の統一問題

「フィールドプレイヤー」か「コートプレイヤー」かに端を発した競技用語の問題であるが、それに留まる問題ではないので、各種競技用語について検討をする。

八、小学生のボールの規格の変更

普及委員会との合同事業として、新たな規格のボールを試作中である。

九、国体を契機として屋外ハンドボール専用施設の確保について

指導委員会の競技専門委員会の事業である。「21世紀に向けたハンドボール振興に関する一方策」の具体的事業として標題の事業に取り組む。

★都道府県協会への連絡及びお願い

一、各都道府県の指導委員の選出について

最初に述べましたように指導委員会はハンドボールの指導者の育成や研修を第一の目的として活動をしております。目的を達成するためには中央と都道府県との間に太いパイプを通して、情報の交換を行う事が必要です。各都道府県に指導担当者を置いて頂いているところもありますが、まだのところもあります。後日また連絡いたしますが選任の程よろしくお願いします。

二、平成5年度のコーチシンポジウムの開催

公認コーチ指導者の養成は隔年開催になっております。従って、今年はシンポジウムの開催年です。今年度は審判委員会と合同開催を致します。

期日　平成6年1月28日（金）～30日（日）

場所　東京オリンピックセンター（予定）

参加資格　指導委員会側からの参加資格は公認指導者、都道府県代表者（原則的には指導担当者）他となっております。

三、平成5年度全国指導委員会

期日　平成6年2月27日（日）

出席者　ブロック指導委員、中央指導委員

香川県ハンドボール協会

日本ハンドボール協会の先生方におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃は、東四国国体の開催準備に御協力を頂きまして誠に有り難うございます。

さて『出会い　競い　そして未来へ』の大会スローガンのもと、第48回国民体育大会「東四国国体」秋季大会も、あとわずかとなり、開催準備もいよいよ本格化してまいりました。高松市・香川町・綾上町実行委員会（一市二町）と県ハンドボール協会役員との打合せも細部にわたってきました。今後は、競技役員・競技補助員の養成に一段と熱が入ります。

しかし、昨年のリハーサル大会（第35回全日本教職員ハンドボール選手権大会・第41回四国高等学校ハンドボール選手権大会）の競技運営を経験し、その役員がほとんど本番と同じ係をするため、ある程度は自信を持って仕事が出来ると思います。しかしながら本番での失敗はゆるされませんので最善を尽してその大役を務めたいと思います。

強化の面においても、昨年の教職員大会では、男子が優勝、女子が二位（県ハンドボール界で全国規模の大会で初の成績）とすばらしい成績をあげ、東四国国体に大きなはずみになったと思います。

少年男女についても、今年の栃木で開催されるインターハイで力をためすことが出来、上位を目指して毎日練習に励んでいます。

国体本番での目標は、成年男子二部の優勝、成年男子一部・成年女子・少年男女はベスト４以上で、ハンドボール競技総合優勝を目指して、監督、選手一丸となって毎日の練習に取りくんでいます。

必ずや期待にこたえてくれるものと県協会も信じてやみません。

〝健闘を祈る〟

施設面においても、体育館のフロアーの改修工事、高松工芸高等学校運動場の整備などが行なわれ万全を期しています。

宿泊関係では、成年男子一部二部とも高松市内のホテル、旅館、成年女子は綾上町内の民宿、少年男女は香川町内のホテルを確保しチームが気持良く泊っていただけるよう配慮したいと思います。ご来県をお待ちしています。

東四国国体

スローガン

出会い　競い　そして未来へ

秋季大会　　平成５年10月24日㈰〜29日㈮

ハンドボール競技

１　期　　日　　平成５年10月25日（月）から29日（金）まで（５日間）

種　別	10月25日（月）	10月26日（火）	10月27日（水）	10月28日（木）	10月29日（金）
成年男子１部	１　回　戦	２　回　戦	３　回　戦	準決勝戦	決　勝　戦 ３位決定戦
成年男子２部		１　回　戦	２　回　戦	準決勝戦	決　勝　戦 ３位決定戦
成　年　女　子	１　回　戦	２　回　戦	準決勝戦	決　勝　戦 ３位決定戦	
少　年　男　子	１　回　戦	２　回　戦	準決勝戦	決　勝　戦 ３位決定戦	
少　年　女　子	１　回　戦	２　回　戦	準決勝戦	決　勝　戦 ３位決定戦	

２　会　　場　　香川県高松市　　高松市市民文化センター（別館）
香川県立高松工芸高等学校体育館
香川県立高松工芸高等学校運動場
香川県綾上町　　綾上ふれあい運動公園多目的広場
香川県香川町　　香川町総合体育館
香川町立香川中央高等学校体育館

各地の大会結果

関東

茨城県民総体(成年の部)

(6月12~13日/勝田自衛隊体育館)

◎男子(国体予選・2部)

▼1回戦

筑波振球会 42-27 常陽銀行
グレートディパーズ 31-26 勝田クラブ

▼2回戦

筑波振球会 27-25 茨苑クラブ
麻生F 43-7 太田クラブ
土浦三高 28-18 日本原子力研
笠間クラブ 35-20 グレートD

▼準決勝

筑波振球会 39-19 麻生F
笠間クラブ 32-16 土浦三高

▼決勝

筑波振球会 25 (16-8, 9-12) 20 笠間クラブ

※国体成年1部は茨城コンドルズが出場を決めている。

第9回関東少年少女大会

(7月23~24日/草加市スポーツ健康都市記念体育館)

◎男子

▼1回戦

守谷クラブ(茨城) 20-3 小林ドラゴン(千葉)
富岡少年H(群馬) 14-11 坂戸HNC(埼玉)
筑波学園HC(茨城) 13-6 吉川中央F(埼玉)
大宮北小(栃木) 13-5 塩山Hスポ少(山梨)

▼準決勝

守谷クラブ 12-2 富岡少年H
大宮北小 13-7 筑波学園H

▼決勝

守谷クラブ 8 (3-2, 5-4) 6 大宮北小

◎女子

▼1回戦

大宮北小(栃木) 12-3 坂戸HNC(埼玉)
日吉台バード(千葉) 22-1 塩山Hスポ少(山梨)
妙義HSC(群馬) 9-7 小林ピーナッツ(千葉)
筑波学園HC(茨城) 17-2 吉川中央F(埼玉)

▼準決勝

日吉台バード 13-4 大宮北小
筑波学園HC 9-3 妙義HSC

▼決勝

日吉台バード 8 (4-0, 4-3) 3 筑波学園HC

東海

第29回東海実業団大会

(7月18日/名古屋市体育館他)

◎男子

▼1回戦

新日鉄名古屋 19-8 三洋電機
日本ガイシ 20-17 日本耐酸壜
ブラザー工業 18-17 バウハウス丸栄
豊田合成 34-6 アイシン精機

▼2回戦

トヨタ車体 30-12 新日鉄名古屋
トヨタ自動車 36-10 日本ガイシ
本田技研鈴鹿 30-15 ブラザー工業
大同特殊鋼星崎 26-18 豊田合成

▼準決勝

トヨタ自動車 20-18 トヨタ車体
大同特殊鋼星崎 24-22 本田技研鈴鹿

▼決勝

トヨタ自動車 18 (7-8, 11-7) 15 大同特殊鋼星崎

※トヨタ自動車は初優勝

◎女子

▼決勝

ブラザー工業 36 (11-14, 14-11, 1-3, 5-3, 4-3, 1-1) 35 ジャスコ

※ブラザー工業は6年ぶり6回目の優勝

※同時に行われた日韓親善高校女子大会は貞信女子高校(韓国)が名古屋短期大学付属高校を23-19で下した。

近畿

大阪府高校総体

(6月11~13日/東淀川体育館)

◎男子

▼予選トーナメント

■Aグループ

桃山学院 39-4 西寝屋川
桜宮 26-13 岸和田
桃山学院 17-11 桜宮

■Bグループ

三国丘 20-7 島上
都島工業 15-9 此花学院
都島工業 25-8 三国丘

■Cグループ

北陽 22-8 清風
大商大堺 22-12 茨木
北陽 24-13 大商大堺

■Dグループ

初芝 20-10 北千里
上宮 30-12 摂津
上宮 21-20 初芝

▼決勝リーグ

桃山学院 24-15 北陽
桃山学院 14-12 都島工業
桃山学院 22-20 上宮
北陽 27-15 都島工業
上宮 17-16 北陽
都島工業 22-14 上宮

※桃山学院は2年連続9度目

◎女子

▼予選トーナメント

■Aグループ

宣真 30-3 大東
大谷 24-11 鳳
宣真 21-11 大谷

■Bグループ

春日丘 24-14 梅花
城南学園 13-11 住吉商業
春日丘 20-13 城南学園

■Cグループ

初芝 17-15 阪南
桜宮 20-8 寝屋川
初芝 17-15 桜宮

■Dグループ

四天王寺 34-1 東百舌鳥
福島女子 15-6 摂津
四天王寺 16-4 福島女子

▼決勝リーグ

四天王寺 8-8 宣真
四天王寺 23-6 初芝
四天王寺 28-6 春日丘
宣真 18-13 初芝
宣真 20-5 春日丘
春日丘 18-11 初芝

※四天王寺は2年連続6度目

京都府高校総体

(6月5~20日/伏見港体育館他)

◎男子

▼1回戦

田辺 29-16 伏見工業
桃山 19-9 久御山
山城 24-23 平安
乙訓 12-0 洛陽工業
日吉丘 15-7 八幡

▼2回戦

洛北 18-9 田辺

洛星 15－14 東稜
南八幡 26－12 洛東
洛水 43－5 宇治
向陽 23－10 桃山
同志社 21－4 木津
北稜 43－10 塔南
山城 18－17 京都西
東宇治 28－12 乙訓
嵯峨野 19－15 京都学園
西乙訓 30－8 城陽
大谷 22－10 東山
桂 29－18 西宇治
堀川 19－10 洛西
京都両洋 19－14 城南
北嵯峨 42－4 日吉丘

▼3回戦
洛北 30－9 洛星
洛水 28－11 南八幡
向陽 31－4 同志社
山城 24－10 北稜
東宇治 20－16 嵯峨野
大谷 21－14 西乙訓
桂 22－14 堀川
北嵯峨 26－11 京都両洋

▼4回戦
洛北 29－9 洛水
山城 16－11 向陽
東宇治 18－17 大谷
北嵯峨 12－11 桂

▼準決勝
洛北 13－11 山城
北嵯峨 17－13 東宇治

▼決勝
北嵯峨 15（7－5、8－7）12 洛北

※北嵯峨は7年ぶり2回目

◎女子

▼1回戦
光華 19－10 山城
洛水 12－11 南八幡
京都女子 32－3 塔南
西乙訓 14－6 久御山
東稜 11－3 明徳商業
西宇治 12－6 日吉丘
北嵯峨 16－8 乙訓
府立商業 61－4 鴨沂
西山 17－14 桂
京都学園 21－3 北稜

▼2回戦
洛北 32－6 光華
京都女子 11－9 洛水
精華 22－8 西乙訓
城南 18－6 東稜
桃山 14－10 西宇治
東宇治 20－11 北嵯峨
府立商業 36－16 西山
向陽 23－6 京都学園

▼3回戦
洛北 28－6 京都女子
城南 11－9 精華
東宇治 20－9 桃山
向陽 23－9 府立商業

▼準決勝
洛北 20－4 城南
向陽 18－13 東宇治

▼決勝
洛北 15（7－3、8－7）10 向陽

※洛北は3年連続3回目の優勝

中国

広島県高校総体

（6月5～6日／安芸南高校）

◎男子

▼1回戦
松永 20－7 三次工
廿日市 22－13 市立福山
安芸 13－10 武田
広 13－10 城北
呉商 22－10 三次

▼2回戦
修道 37－4 松永
安芸南 12－11 廿日市
三津田 19－7 賀茂
呉昭和 17－0 安芸
呉港 30－0 広
尾道 26－9 宮原
三原工 20－13 誠之館
呉工 25－1 呉商

▼3回戦
修道 22－15 安芸南
呉昭和 21－14 三津田
呉港 11－9 尾道
呉工 25－6 三原工

▼準決勝
修道 24－12 呉昭和
呉港 16－12 呉工

▼決勝
修道 22（10－11、12－9）20 呉港

◎女子

▼1回戦
清水ヶ丘 9－6 西農
安芸南 19－3 松永

▼2回戦
山陽女子 32－4 清水ヶ丘
賀茂 25－0 呉商
市立福山 15－5 宮原
第一女子 15－7 安芸南

▼準決勝
山陽女子 33－3 賀茂
第一女子 19－18 市立福山

▼決勝
山陽女子 29（14－2、15－4）6 第一女子

広島県中学校大会

（7月21～22日／会場不詳）

◎男子

▼1回戦
長浜 14－11 松賀
両城 19－12 昭和北

▼2回戦
片山 17－7 長浜
甲田 28－6 二河
昭和 23－9 誠之
修道 15－14 両城

▼準決勝
片山 15－11 甲田
修道 20－6 昭和

▼決勝
片山 14（7－2、7－4）6 修道

◎女子

▼1回戦
誠之 15－5 甲田

▼準決勝
松賀 20－6 誠之
亀山 34－2 阿賀

▼決勝
松賀 18（8－0, 10－2）2 亀山

山口県中学校大会
（7月21～22日／徳山市総合スポーツセンター他）

◎男子

▼1回戦

太華 29－4 小野田
末武 24－4 通津
須金 17－8 東部
岐陽 8－7 下松
河内 13－12 鴻南
平田 18－10 文洋
熊毛 14－5 天尾
桜田 16－12 高千穂
美川 16－7 周陽
深浦 15－9 高水
岩国 22－9 大畠

▼2回戦

北河内 22－12 太華
末武 20－12 須金
柱野 18－13 岐陽
日新 14－10 河内
住吉 26－10 平田
熊毛 13－10 桜田
深浦 17－17 美川（2PTC1）

▼3回戦

菊川 31－10 岩国
北河内 22－14 末武
日新 14－10 柱野
住吉 21－10 熊毛
菊川 32－17 深浦

▼準決勝

北河内 16－11 日新
住吉 13－10 菊川

▼決勝

北河内 19（8－7, 11－6）13 住吉

◎女子

▼1回戦

岩国 12－6 太華
平田 12－8 岐陽
玖珂 22－5 周陽

▼2回戦

下松 24－3 秋月
末武 15－10 岩国
住吉 16－8 平田
河内 25－5 玖珂

▼準決勝

下松 8－5 末武
河内 16－6 住吉

▼決勝

河内 12（3－5, 9－2）7 下松

●機関誌委員会スタッフ
植村繁／恩田健一／木野実／本多正樹／菅野恵理／臼井鉄久／門松真一

日本協会だより

7月度　常務理事会

7月10日（土）於：日体協会議室
出席　中澤専務理事、松本監事他4名

1）97世界選手権大会
ワーキンググループの提案を受け、プロジェクトチームを編成、誘致への準備作業に着手することとした。在京プロジェクトチームの委員長には渡邉副会長を推薦し、他のメンバーの人選は委員長に一任することとした。
在京プロジェクトチームの経費は予備費から支出することとした。熊本プロジェクトチームの編成については熊本側に一任することとした。

2）アジア選手権大会への派遣選手について
男女ともナショナルAチームを派遣する事に決定、日本リーグ後期の試合と日程が重なるため、各チームオーナーに対し文書で協力要請することとした。

3）アメリカ女子ナショナルチームの来日について
韓国で開催されるオリンピック記念大会（日本にも招待が有ったが日程の調整がつかず今回は不参加）参加の帰途、来日することとなった、試合は5試合を計画（詳細別記）アメリカチームの国内移動費は当協会の負担とする。

4）海外派遣役員承認
男子アジア選手権大会　団長　渡邉副会長、副団長　井　常務理事
女子　　〃　　　　　　団長　竹野常務理事、副団長　藤原女子強化委員長
女子ジュニア選手権大会団長　小西常務理事

5）実業団連盟からの提起案件について
実連より4月5日付文書で提起され継続審議となっていた案件につき審議した。
ア、新卒者入社前登録について
各連盟代表者懇話会を開催、検討の結果、大学生に関しては事故発生時の責任所在等を明確にすれば実現可能だが、高校生に関する高体連の意見書の提出を待って、合わせて検討する。
イ、社会人連盟の結成について
再編の一環として次年度より国体リハーサルとして従来の教職員大会に加えてクラブ大会を並立開催する。
その後の問題については継続審議とする。
ウ、納付金等一括納入について
日本リーグ所属チームを対象にアンケート調査を実施、その結果を受けて検討することとし、継続審議とした。

6）平成6年度全日本総合選手権大会の会期について
東京都体育館を会場とし12月8日午後から設営開始、12日（月）の間に開催でTV放映の問題等を勘案して再検討する。

7）平成5年度国体功労者表彰について
各都道府県協会に候補者推薦を依頼することに決定。

8）自衛隊連盟問題について
全日本自衛隊連盟富永会長宛てに『全日本自衛隊ハンドボール連盟活動停止について』の文書を発送、連盟組織の改善を再要望することに決定。

9）平成5年度常務理事会開催予定確認
9月18日　当初予定の通り
10月9日　〃
11月13日　11月20日の第2回理事会に併合する場合あり
1月22日　当初予定の1月15日より変更
2月5日　2月12日の第3回理事会に併合する場合あり
3月12日　当初予定の通り

(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第三三四号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
平成五年三月二十六日 印刷
平成五年九月一日 発行
東京都渋谷区神南一−一−一 編集兼発行人 中澤重夫
電話 代表 三四八一−二三六一
振替 東京 六−五八三四八番
定価三百五十円
(年間購読料三千三百円)